

第 6 回 学校跡施設活用検討会議 議事要旨			
日 時	平成 21 年 2 月 10 日 (火) 14 : 00 ~ 16 : 00	場 所	練馬区役所本庁舎 5 階 庁議室
議事次第	1. 開 会 2. 第 5 回検討会議議事要旨 (案) の確認 3. 議事 (1) 学校跡施設活用検討会議報告書 (案) の検討 4. 閉 会		
配布資料	1. 第 5 回検討会議議事要旨 (案) (資料 1) 2. 学校跡施設活用検討会議報告書 (案) (資料 2) 3. 学校跡施設活用検討会議報告書のサブテーマ (資料 3)		
出席者	【検討会議委員 (50 音順)】 秋山真理、上杉道子、上野定雄、遠藤薫、尾添博、川下晃弘、下向薫、杉浦浩、高橋司郎、森田善朗、横山正二 【練馬区】 企画部長、施設管理課長、事務局 (企画課) <div style="text-align: right;">(敬称略)</div>		
欠席者	無し		
傍聴者	6 名		

議 事 概 要

会長	<p>1. 開会</p> <ul style="list-style-type: none"> ・開会挨拶。
会長	<p>2. 第5回検討会議議事要旨（案）の確認</p> <ul style="list-style-type: none"> ・前回の議事要旨の確認をお願いする。これは事前に各委員にご確認いただき修正したものである。記載内容に誤り等はないか。
各委員	<ul style="list-style-type: none"> ・一異議なし
会長	<ul style="list-style-type: none"> ・これで確定し、後日、区のHPに掲載する。
	<p>3. 議事</p> <p>(1) 骨子案について</p> <p>【資料2. 学校跡施設活用検討会議報告書（案）に基づき説明】</p>
委員	<ul style="list-style-type: none"> ・16 ページ上から4行目以降は、“総合的な管理監督するセクションが必要と”という重要な部分であるため、第3の3として独立させたほうが良い。
事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・第3の3活用に向けての体制として記載する。
委員	<ul style="list-style-type: none"> ・全体的な記述として、検討会議が主語ならば“要望します”、“強く要望します”等の表現が良い。
事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・検討会議が考えていることとして、“必要です”等で修正する。
委員	<ul style="list-style-type: none"> ・1点目は16 ページの2行目以降の校庭および体育館について、ここに記載する必要があるか。 ・2点目は16 ページ7行目に担当部署を設置するとあり、これでは部署を新設するというようにとられかねない。担当部署を定めると言う表現にしたらどうか。
事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・1点目については、検討会議で議論された内容であるため、その表記については、記載箇所も含めて検討したい。 ・設置をするという表現は、新設することにとられかねないため、担当部署を明確にする、定めていく等の表現に修正する。
委員	<ul style="list-style-type: none"> ・16 ページ表だけ見れば報告書のポイントが分かる。表だけでも見直したほうが良い。具体的には、検討会議において議論がでていないものもあるように感じる（宿泊研修施設等）。
事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・ここで挙げられている施設については、検討会議で意見としてでてきているものである。ただし、それが委員の中で必要と合意されたものということについては、はっきりと判断されたものではないものもある。可能であれば、あらためてご議論いただきたい。
委員	<ul style="list-style-type: none"> ・報告書としてうまくまとまっているが、委員からの提案はすべてが総意に至ったものばかりではないと思う。そこで、このような意見もあったということを注釈に入れることでも良いかと思う。この報告書を見て同様の意見をもつ方もいるかもしれない。

委員	<ul style="list-style-type: none"> ・ 宿泊研修施設については、学校の教職員あるいは区の職員を対象としたものではなく一般的に、グループがそこに泊まって研修が出来る施設として提案した。
委員	<ul style="list-style-type: none"> ・ 光が丘にはまとまった緑地があり、またバードサンクチュアリではオオタカも見られる等、比較的良好な自然が残されていることから、練馬区の児童・生徒が研修のために泊まりに来ることができる施設があると良い。 ・ 研修施設があると、実は練馬区の防災は全国的にも高い評価を得ている。全国の防災担当者が集まっての研修等にも利用できる。 ・ 地域交流の形として家庭科室を利用することも考えられる。また、屋上の利用として食育のための農園であったり、視覚障害の方が危険なく歩行訓練ができる場所であったり、またプールのビオトープ等、アイデアとして入れていただきたい。
会長	<ul style="list-style-type: none"> ・ 機能及び施設例について精査したほうが良いという意見と、議論ででた意見を多く取り入れたほうが良いという意見と2つに分かれた。 ・ この検討会議では、4つの施設それぞれの活用用途までは決めきれないと考える。今後、具体的に活用用途を決めるのは行政となるため、幅広い選択肢があったほうが良い。
委員	<ul style="list-style-type: none"> ・ この検討会議では、一つひとつ吟味し判断しきれない。幅広い選択肢の中で、実現可能な活用の選択、あるいはここで挙げられた機能で活用を希望する方が手を挙げるならば、その方々に任せることも良い。
会長	<ul style="list-style-type: none"> ・ 16 ページの機能および施設例において、今回の議論で合致しない、あるいは追加したほうが良い施設があればご意見をいただきたい。
委員	<ul style="list-style-type: none"> ・ 区立小中学校の中では、開進第二中学校と大泉中学校の2箇所にセミナーハウスがある。主に、研修の場および児童生徒の宿泊体験として利用している。 ・ また、区外には、下田、武石、軽井沢、岩井の4箇所に少年自然の家という区立施設があるが、身近なところに研修施設があれば一層良い。現在でも、校長会でセミナーハウスを活用している。 ・ 小学校・中学校含めて、学校単位ではなく、地域単位で宿泊を伴った活動をしたいという要望が多い。学校を使わせて欲しいとの要望があるが、学校は宿泊に適した施設になっていない。もし、セミナーハウスのような宿泊できる施設が地域にできれば、そのような要望に応えることができる。
委員	<ul style="list-style-type: none"> ・ セミナーハウスについては、16 ページの表に残したほうが良い。
委員	<ul style="list-style-type: none"> ・ 16 ページの表の④生活支援にて、保育事業にカッコ書きが付いているが、施設を限定しているようにとられるため、カッコ書きが無いほうが良いのではないか。ここでは、一つの例として挙がっているという意味を残しておいたほうが良い。
委員	<ul style="list-style-type: none"> ・ 12 ページ以降に記載されていながら、16 ページの表に記載されていないものがある。具体的には、産業振興でコミュニティ、地域交流でもコミュニティがある。しかし、16 ページ表にはコミュニティという言葉がでてこない。分かる人には良いが、一般の方が見て理解できるかは分からない。

会長 委員	<ul style="list-style-type: none"> ・これについては、事務局で精査してもらいたい。 ・コミュニティそのものの概念になるが、12ページ以降の記載と16ページの表の記載は日本語とカタカナの違いである。基本的には16ページの表は網羅されていると思う。
事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・コミュニティに関連するものについては、地域交流施設に取り入れているが、12ページ以降の表現と、16ページの表の表現が一致していないところもある。できる限り、表現を統一したり、カッコ書きとして記載したりと、分かりやすくなるように検討したい。 ・16ページの表については、あくまでも例、アイデアということで、議論でた意見は網羅していきたい。ただし、再度確認させていただきたい。また、個別の特定された施設名等については、現在のまとめ方がこのような機能を有する施設と表現しているため、それらとレベルを合わせた表現とさせていただきたい。 ・16ページの表については、これが決定事項だという誤解を招く恐れもあるので、「検討会議ででてきた意見、アイデア等」ということが分かるように注釈を追記する。
委員	<ul style="list-style-type: none"> ・16ページの表に記載されている機能の順番で、産業振興が最初にあるが、区民に受け入れられる施設を考えると、地域活動、人材育成、生活支援等が先で、産業振興はその後に位置づけられるのではないかと。
事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・順番については、区の施策体系等に合わせているわけではなく、特に順番にこだわっていない。委員から入れ替えたほうが良いという意見をいただければ、そのように修正したい。
委員	<ul style="list-style-type: none"> ・ここに記載されているものは全て重要だと思う。順番にこだわらなくても良い。
委員	<ul style="list-style-type: none"> ・順番については区に一任するということがよいのではないかと。
委員	<ul style="list-style-type: none"> ・項目別になっているので、①、②の通し番号をとってしまったほうが良い。
委員	<ul style="list-style-type: none"> ・12ページ以降の番号も併せて外したほうが良い。
会長	<ul style="list-style-type: none"> ・12ページ以降と16ページの表については、並びは合わせて、番号を削除するということが良いか。
各委員	<ul style="list-style-type: none"> ・一異議なし。－
委員	<ul style="list-style-type: none"> ・光が丘には外国人が多い。16ページの表の中に外国人という文言を入れて欲しい。
会長 委員	<ul style="list-style-type: none"> ・どのように記載するか事務局で検討していただきたい。 ・コミュニティビジネスは産業振興になる。コミュニティビジネスについては、12ページにも記載があるので、16ページの表にも入れたほうが良い。 ・以前の検討会議で、たまり場という意見もあった。地域交流施設等になるのかもしれないが、予約等を必要としない施設が必要である。いろいろな活動をする上で施設の絶対数が足りないということは事実であるが、それとは別の意味で、そこにいったら誰かと合えるというような施設が必要である。 ・区分は地域活動の箇所が良いと思う。

委員	<ul style="list-style-type: none"> ・たまり場のような施設は賛成である。 ・たまり場は、「区民ロビー」という表現はどうか。そういう表現もよく使われている。 ・16 ページの表に、校庭や体育館の取扱について記載が無い。 ・⑤環境については、学校の敷地全てを農地にするということではなく、学校開放等を受け入れながら、一部を農地にする等が分かるように表現する必要がある。 ・大きく区分するとすれば、①～④、⑤、⑥の3つに分けたほうが良い。 ・体育館については、学校開放しているため、継続して使えるように配慮したほうが良いとの意見はあったが、学校開放事業以外の活用については、今まで特に議論に無かった。 ・16 ページの表の分け方としては、校舎の利用と、地元開放ということで校庭・体育館の利用、医療は将来の話ということがあるのではないか。これに基づき、表を再構成していきたい。 ・産業振興の施設では、例えばアニメ等という展示会としての活用が考えられる。地域交流活動では、参加者が一同に介する場として活用できる。 ・16 ページの表では、施設構成例が挙がっているが、それ以外で施設をどのように利用するかということもある。外国人との交流という意見もあったが、外国人交流施設を作る必要は無い。例えば青少年活動支援施設で外国人との交流のイベントを開催すれば良い話しである。ここでは、施設機能のアイデアと活用方法のアイデアを分けて考えたほうが良い。 ・校庭、体育館は地域住民が使っている。活用する際には継続して使えるようにする等、約束ごとを決めておく必要がある。 ・学校開放では、希望通りの予約をとることも大変である。校庭と体育館だけは、切り離した考えを持つべきである。また小学校は全て避難拠点となっておりその観点も必要である。 ・学校開放事業による校庭・体育館の利用や避難拠点による学校施設の利用については、18 ページの4で既存の取組に配慮すべきという記載を既にしてるので、これまでの意見は既にここに包含されていると思う。 ・16 ページの表に防災が無い。 ・家庭科教室、特別支援教室等をうまく抱き合わせれば、複数の機能を有したまま、改装することなく良い活用ができるのではないか。 ・全体的に内容が重複している箇所もあり、記述の整理が必要と思う。 ・12 ページ以降、委員会の主な意見が記載されているが、このような報告書はあまり見たことがない。本文中に組み込めるならばそのほうが良い。 ・ソフト面とハード面の話があるが、防災については、新たな活用方法としてではなく、今後、災害時にどのように活用するかという話であると受け止めている。そのため、跡活用として設置が望ましい機能・施設例としては記載せず、配慮すべき事項として整理した。 ・委員の意見の記載については、いろいろ意見をいただいた中で、細かい部分を本文に組み込むと分からなくなってしまう、あるいは必ずしも検討会議で
委員	
事務局	
委員	
委員	
会長	
委員	
事務局	

	<p>の合意ではないがせっかく意見として挙げたものを記載しないのもどうかということでもまとめて記載した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・特別教室の使い方については、実際に施設を整備するときに、どこの施設をどのように活用することが効果的かということを考える際に、踏まえとくべき事項だと考えている。
委員	<ul style="list-style-type: none"> ・避難拠点については、14 ページに記載されているので、表にも記載したほうが良いのではないかと。18 ページにも記載されているが、活用する場合は、災害時には協力して欲しいとのことも付け加えて欲しい。
委員	<ul style="list-style-type: none"> ・第3に3を新たに設けて、学校教育以外に利用されている既存事業への配慮として、体育館、避難拠点、校庭等について記載しても良いのではないかと。
事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・望まれる活用機能については、こういう機能を持たなくてはならないであろうということで記載している。施設構成例は、その機能において施設整備をするのにあたって考えられる施設を記載している。そういうことで防災については(1)から(2)に移行する際に外している。 ・既存利用への配慮については、配慮すべきということで、最後のまとめの部分に入れていた。校舎の活用のあり方、校庭・体育館の活用のあり方という別立てで記載するとした場合は、既存事業への配慮として表とは別に記載できるものと考えている。
委員	<ul style="list-style-type: none"> ・学校によって異なるが、防災倉庫が教室の中にあつたり、別に一室設けてある場合もある。防災倉庫が教室にある場合は、継続して活用できるよう、どこか施設内に移設するなど配慮をして欲しい。
会長	<ul style="list-style-type: none"> ・ここで活用・運用の仕方まで言及することは難しいが、配慮事項としてソフト面の議論を追記できないか。
事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・必要と思われる施設について、必ずしも単独で整備するというのではなく、運用の中で複合的な利用をするということを含めて、いかに効果的な施設整備ができるかということも選択肢の中に入れていかななくてはいけないというようなことを19 ページの7の前後に記載していきたい。
委員	<ul style="list-style-type: none"> ・プールの活用はどうなるのか。運営にコストがかかる。
事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・決まっていることではないが、利用方法を考えると、継続的に運用していくことは難しい。学校教育の中で活用していれば、経費をかけることもできるが、プールを一般開放するということは難しいと考える。ただし、利用できないということではなく、効果的に活用してもらえれば、活用して欲しい。
委員	<ul style="list-style-type: none"> ・プールは災害時の飲料水になる。浄化装置も用意している。また一部はトイレの水に使っている。そのため、どの学校も年間通して水を貯めている。
委員	<ul style="list-style-type: none"> ・プールについては防火用水としての役割を持っている。学校教育支援施設として活用する場合は、不登校児童生徒の学習活動の場、登校復帰支援の場として活用できる。4つとも一括して廃止するという点については慎重に検討して欲しい。
事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・プールが防災用として話に挙げたが、4校の避難拠点のあり様や防災倉庫等の取り扱いについては、跡施設の使い方や光が丘全体の避難拠点のあり様

委員	を含めて、今後、防災担当と協議していくこととしている。
委員	・4校の避難拠点運営連絡会は続けていくべきである。
委員	・現在、防災課は、避難拠点として残るように努力しているという説明をしている。
委員	・プールとしての利用を考えると、管理運営面で危惧することがある。
会長	・プールは水を貯めることができる。産業振興の上では、農業が考えられ水耕栽培等も考えていくことができる。
委員	・やはり、プールを直ちに壊すということはいけないと思う。プールについては防災機能としてできる限り確保していくと言う表現が必要である。
委員	・4校の避難拠点運営連絡会については、主要テーマではないが、今後、防災課と協議し、区としての方向性を示してほしい。
委員	・コミュニティの核となりうる方たちの集まり。地道に10年間以上活動し、ようやく今の形ができてきた。再編されるとしたら、ゼロからのスタートになる。今後も個別で活動できるように配慮してほしい。
事務局	・避難拠点については整理が必要であるので、今後、防災課と協議していきたい。
会長	・サブタイトルについてご意見をいただきたい。
委員	・光が丘という言葉は大事である。提案があった4番目を「光が丘の新たなステージに向けて」というようにするのはどうか。
会長	・このような報告書は堅いイメージがある。完成後でもよいがイラストをのせるなど、分かりやすくまとめるのはどうか。
委員	・今回の報告書は、行政が活用を検討する際に、幅を持たせるという意味で、あえて多くを書き込んでいないが、今回の報告書としてはこのぐらいまでで良いと考える。
委員	・今回の議論は、後々区で計画を策定する際の枠組みを作るイメージであったと考える。区が計画を策定する段階では、もう少し具体化すると思われるので、その際、今回挙げられたテーマ案を参考にしてキャッチコピーを作成したらどうか。
委員	・また、後にパンフレットの的なものを作るのであれば、その際に用いるのも良い。
委員	・会長の意見に賛成である。報告書自体が方向性を持ったものではなく、幅広い選択肢を与えるものである。ただし、これから別の地域でも同じような検討がされる可能性もあるため、それらと区別するという点でもタイトルの学校跡施設の前に光が丘地域を入れたほうが良いと思う。
会長	・表紙のデザインについては、事務局に一任する。
委員	・委員からの主な意見ということについてであるが、活発な意見があったということで記載しておくことも良いと思う。
事務局	・本当に発言があった内容かどうかを精査する必要がある。
事務局	・基本的に記載しているものは、発言があった内容である。ただし、発言内容を一文でまとめる形で記載している。
会長	・本文に記載すると、その事実についても問われることとなるが、このような

委員 会長	<p>意見で記載すると、活発に議論された内容として位置づけることができる。</p> <ul style="list-style-type: none">・委員からの主な意見はいれたほうが良い。・委員からの意見については、入れる方向でまとめていくこととしたい。
事務局	<p>4. 閉会</p> <ul style="list-style-type: none">・今後、本日の指摘事項を踏まえて修正を行い各委員へ郵送させていただき、確認いただく。・報告書の最終確認は、会長に一任する。・次回は、3月17日（火）18時、場所は19階、1902会議室で行う。 <p style="text-align: right;">以 上</p>